

京都生協 理念・2030年ビジョンが決定しました！

京都生協に関わる組合員や職員、生産者、お取引先など、全ての人たちの信頼と共感を高めるために、京都生協の「理念」を改めて定義し直しました。そして、「2030年にはこうなりたい」という願いを込めて、「2030年ビジョン」を決定しました。

理念

変わらぬ想い

頼もしき隣人たらん

私たちは、相手を気にかけて、困っていることはともに考え行動し、暮らしに寄り添い、支え合っていく「頼もしき存在」であり続けます。

高度経済成長による物価の高騰が暮らしを直撃し、不安が高まる時代であった1964年11月27日、「隣人に対する心持を薄れさせず、(中略)お互いに頼もしい隣人となりましょう*」と消費者・組合員に呼びかけ、京都生協が設立されました。

組合員の自主的な参加のもと、「協同」の価値を大切に事業や活動を行うことで、多くの組合員が参加する組織へと広がり、社会的な役割を果たしてきました。

持続可能な社会の実現に向けて、私たちは身近な暮らしや地域社会、そして世界の中で、人々がつながりあい、力を寄せ合って、希望ある社会をつくっていく『頼もしき隣人』であり続けます。

※機関誌「洛北」創立総会特集号



2030年ビジョン

2030年のありたい姿

京都生協は新たな希望をつくる

私たちが追い求めてきた食や暮らしの「安全・安心」は、今日の社会のスタンダードとなりました。持続可能な社会がさらに求められる今、食や暮らしだけでなく、人への優しさや寄り添う心、人とのつながり、そして地球に対する「安全・安心」がこれからのスタンダードになると確信しています。

次の世代、そしてさらに次の世代へ「安全・安心」な地球環境を手渡していけるように、組合員や職員そして関係する全ての人々と力を合わせ、「新たな希望」をつくります。



私たちが実現したい姿

2030年ビジョンに向かって取り組むこと



1. 京都生協の総合力で普段の暮らしへの役立ちを高めます。
2. 誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを進めます。
3. 持続可能な世界の実現に貢献します。



4. 多様性を認め合う活力ある組織を目指します。

頼もしき隣人たらん

「京都生協理念・2030年ビジョン」全文は、京都生協ホームページをご覧ください。(11月27日公開)

決定までのプロセスで、組合員(主に理事やエリアメンバー)や職員に意見を聴きました。



次の、さらに次の世代も希望ある社会でいられるように、今出来ることをしていきたい。

京都生協の創立記念日!



生協の存在意義を感じる理念。認め合い、つながりが持てるよう、関わる人の立場に立ち考えられる社会にしたい。



はじめ、「新たな希望」が漠然としてストンと落ちなかったけれど、それが何を意味し、そもそも「希望」とは何かを考えるうちに、この曖昧さが可能性であって、一人ひとりが想いを重ねるきっかけになると思った。

“京都に京都生協があってよかった”とさせていただけるように、これからも持続可能な社会の実現に向けて、組合員の皆さまとともに歩んでまいります。